

# 2014.7 タイ旅行記

## 1日目

2014.7.14 (月) 7:55 福岡空港国際線ターミナル

高校3年生1名 (在校生)  
大学生1名・大学院生1名 (卒業生)・教員2名の5名での  
タイ旅行でした♪



田井くん  
人生2度目の飛行機登場はなんと  
海外!!しかもタイへ!!  
ドキドキしています^^

飛行機の搭乗手続き→荷物を預け  
出国手続きをします。  
手荷物検査では、ベルトまですべて外し  
て検査されました。液体・歯磨き粉など  
も一定量以上は持ち込めない決まりに  
なっているようでした。

↓ china airline この飛行機に乗ります。離陸時ちょっと焦げ臭いにおいましてヒヤヒヤしましたが無事でした^^;;



いよいよ搭乗!!  
ドキドキわくわくでテンションがあがります (笑)



機内食もとても美味しかったし、  
映画鑑賞も楽しめました♪



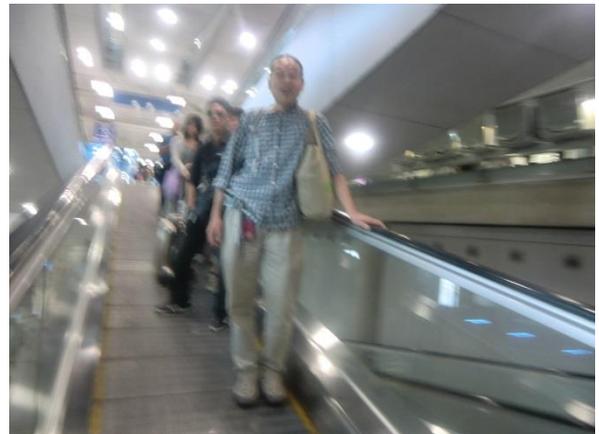


台北桃園空港にて乗換  
漢字表示に癒されます。  
台北は蒸し暑くお天気でした。



タイ・バンコクスワンナプーム空港に到着 とても広くて  
綺麗な空港でした。  
バンコクって漢字で「曼谷」と書くようですね^^

入国手続き・タイバーツへ両替を済ませて  
いよいよバンコク市内へ移動します♪





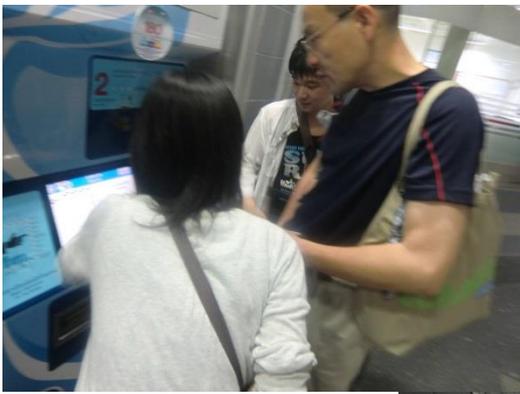
ARL シティラインにて「マカサン」へ移動します。  
チケットは電磁が入っている赤いコインのようなものでした。  
何気にエコで面白いシステムですね～



バンコクの電車はとても綺麗で快適でした。  
どの人も手にはスマホを持っていて日本と変わらない様子が  
印象的でした。line のキャラクターも人気があるみたいでした♪



駅は簡単な荷物検査がされるなどテロなどの警戒もしているようでした。  
←↑マカサン駅の周りは、線路の脇に人々が座って電車を待っていたり、バスやタクシーも多く走っていました。日本車も普通に皆が乗っている様子でした。



MRTに乗換、サムヤーンへ移動します。  
MRTは黒のコインでした。

サムヤーン駅のすぐそばにある寺院です。  
タイでは必ず寺院の隣に学校があるそうで、  
さすが仏教大国という感じです、  
↓小学校



↑←モンティエンホテルからの眺め  
寺院・小学校・家々・ハイウェイ…伝統と近代化と庶民  
の生活とがごちゃまぜに混在している面白い街です。



BTSに乗ってサイアムヘタ食を食べに行きます。  
カップルがたくさんいてきっとデートスポットらしい感じの場所  
でした。噴水の横のチューブはスコールの時に通る場所です（笑



サイアムセンターのフードコートにて  
グリーンカレー・ドラゴンフルーツ・マンゴ  
ーを食べました。  
田井くん。グリーンカレーも辛くてちょっと  
お疲れの様子^^;;



2 日目

2014 年 7 月 15 日 (火)



ホテルで朝食を済ませた後、プールで遊びます♪  
早朝のプールは誰もおらず貸切状態で楽しむことができました^^



朝 9 時 ホテルロビーにてガイドをしてくれるアブさん達と合流し、観光へ向かいます♪

BTS でラチャテウィ駅へ行き、そこからはセンセープ運河をボートに乗ります。

生活排水？臭いがキツイ運河を勢いよく走るボート乗船体験はとてもエキサイティングなものでした！！



↑ボートから運河沿いでの生活が見えます。  
とても日本での生活からは考えられない風景ですが、どの家にもアンテナがあり、テレビなどの家電はとても充実していそうな印象でした。



ラーマ3世公園・ワット・ラチャナダーです。  
中の金ピカの装飾がタイらしくて美しいです♪



ワット・ラチャナダー : ラタナコーシン朝ラーマ3世によって建てられた寺院だそうで、金ピカというより黒く尖った印象の寺院でした。奥はローハー・プラサートと呼ばれるビルマ様式の納骨堂で、この独特の建物は仏陀とその弟子が住んだ世界を表した建物で、中にはらせん階段があり頂上まで登ることができました。



民主記念塔のある通りです。通りには宝くじ売りが  
ずらりと並んで賑わっていました。



トゥクトゥクに乗って、バンランプー市場へ昼食に向  
かいます。風が心地よくタイらしさを満喫できました  
(笑)



バンランプー市場にて昼食 豚肉・海鮮のヌードルを食べました。  
前日のグリーンカレーの衝撃で、辛い物にはちょっと抵抗がありま  
したが、とても美味しかったです！！





沼地(?)の上に建つ家々があるクロントイ・スラム地区の様子貧しい地区ですが、宗教と深く人々の生活に関わっている様子で、あちこちに信仰スポットがありました。

家々には TV などの家電がそろっていて、タブレットを持っている人々も見かけました。スラムの中でも貧富の差があり、貧しい家庭でも家電などの文明の機器(?)を持とうとして借金するなどの状況も問題になっているようです。



保育園の様子、タイでは、小学校への就学前の3年前から義務教育が行われていて、数字・英語なども勉強していました。お昼寝の時間も課題が終わっていない子は課題に取り組んでいました。



保育園の園庭は木々に囲まれ素敵な環境に見えました♪

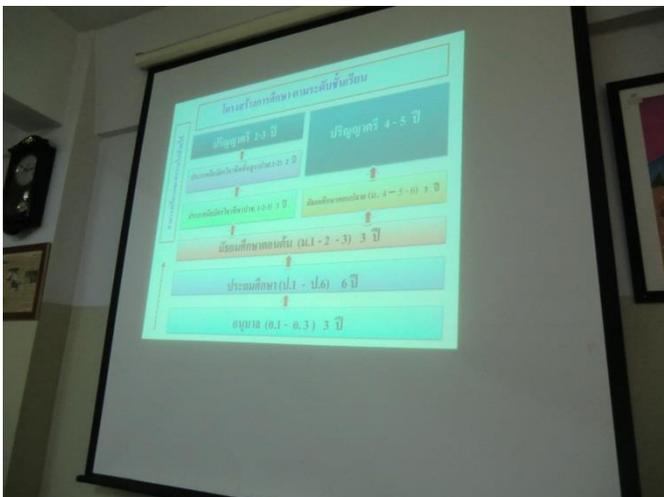




プラティープ財団でのプラティープ氏と奨学生とのミーティングに参加しました。タイの学生の方々の生活の様子や将来の目標などについても貴重な話を聞くことができました。



西日本新聞バンコクの取材も受けました^^  
 近々新聞に掲載されるのも楽しみです(笑)  
 皿にのっているのは、マンゴーともち米をココナツ  
 ミルクで炊いたものでとても美味しかったです!!



タイの教育制度についての説明もありました。タイでは、幼稚園3年、小学校6年、中学校3年が義務教育でその後は、高校→大学と職業専門学校→高等専門学校→大学へ進路が分かれています。  
 ミーティングでは、スラムの問題だけでなくタイの社会状況などについても話を聞くことができました。



チャイナタウンにて足裏マッサージを受けました。思っていたより激痛のマッサージではなく心地よく旅の疲れを癒すことができました。



屋台にて夕食、パッタイを食べました。辛さも丁度よく大好評でした。果物の王様ドリアンにもトライしました。臭いは特になく、カスタードのような味でした。体を温める作用が強いらしくアルコールと一緒に食べるのは控えた方がいいそうです。



↑ココナツジュース・マンゴスチン↓



### 3 日目

2014.7.16 (水)



タイのメインリバーであるチャオプラヤ川を渡り、ワット・プラケオへ向かいます。前日の運河ボートとはかなり違い落ち着いて乗れました^^;;



↓寺院の前には軍隊の(?) 警備の人々が、いました。



ワット・プラケオは 1782 年ラーマ 1 世がバンコクに遷都し、タイの守護寺として建立した建物です。黄金の仏塔には仏陀の遺骨が納められているそう。建物の前にいるのは巨大な守護神 (鬼) (タイ語で“ヤック”で表情がなんともいえなくて思わず笑ってしまいました (笑^^)

建物を支えている守護神は鬼と猿です。→→靴を履いているのは鬼で、裸足は猿だそうです。猿はタイの伝説によく出てくるヒーロー的存在で、この回廊にはその伝説の壁画が残っています♪





←東南アジアでよく知られている「ラーマヤナー」と言う物語を絵にしたものです。タイ語では「ラーマキエン物語」として知られています。このお話はラーマ王子の妃シーターを誘拐したトッサカーンという鬼とラーマ王子が戦うストーリーです。主役のラーマ王子よりも彼の片腕である将軍のハヌマーンという猿の化身がとても人気があります。

ワットプラケオはタイ（バンコク）を代表する寺院で、現地の高校生も修学旅行（？）で訪れていました。入場料は外国人は 500B ですが、タイ国民はフリーです。



ワットアルンのタイ語で『ワット=お寺』『アルン=暁』を表します。歴史をさかのぼるとアユタヤ時代にヒンドゥー教の聖地カイサーラ山をイメージして造られたものです。三島由紀夫の小説『暁の寺』の舞台にもなりました。実際に仏塔の上に登ると、チャオプラヤ川や辺りを見渡すことのでき眺めは最高でした。





チャオプラヤ川の中州にあるクレット島周りをクルージングして観光しました。川辺での人々の生活を見ることができて良かったです。



クレット島はアユタヤ王朝時代に掘られた運河によって人工的につくられた島で、現在ここには、かつて東南アジアで勢力をふるっていたモン族の人々が生活しています。

最終日

2014.7.17 (木)



←空港へは ARL エクスプレスにて向かいました。



4日間のタイ旅行では、日本の生活では体験できない貴重な体験をたくさんすることができました。世界には様々な環境で生活し、様々な価値観をもって生活している人々がいることを、肌で感じることができたと思います。情報が豊かな今の時代、知識として知っていることはたくさんあると思いますが、実際に体験し、身をもって感じることも大切なことかと思えた旅となりました。